

トップ選手育成事業『クラブ選手海外派遣活動』

オースティンからの便り

～ 日本編 ～



第101回日本選手権 3年ぶりの5位入賞 おめでとう！

予選 3分43秒98 決勝5位 3分51秒32
2年間1500m予選落ちの苦汁をなめた日本選手権。
初日の予選では見事に、そのトラウマを解消し、決勝に進出しました。
決勝のレース展開は、少し慎重になり過ぎたレースで、位置取り、大胆さがなかったですね
1周目58秒では最低行ってほしかったのですが・・・
予想通りペースは遅くなり
400m 67秒
800m 2分10秒(63秒)
1200m 3分09秒(59秒)
1500m 3分51秒(41秒)
こうなると、ラスト勝負となり勢いのある選手が勝ってしまいますね。

1200mまでは何度も、前に出るチャンスがあり、いけそうな感じもしたので惜しかったですね。途中自分で何度もブレーキをかけ前に出ることができませんでした。
結局、ラスト300m勝負となりました。まだ、強いラスト100mは戻っていないので、心配しましたが、何とか、粘り5位でなだれ込みました。
予選の組4位、プラスでの通過。このレースの感じが今の体調には最適と感じましたので速い展開になればと思っていました。遅い展開の優勝は、まだ、厳しいと思いました。案の定、遅い展開になり、これでは分が悪いと思いましたが、その通りになってしまいました。
優勝をして欲しかったのですが、3年ぶりの入賞を評価しましょうか・・・

レースを解説するとこんな感じですが、気持ち的には康成の日本選手権の予選・決勝の走りに感動しました。やはり、いつでも、ここにいないといけませんね。
まずは、3年ぶりの入賞、おめでとう！！

康成は、日本選手権は5年連続出場

実業団2年目から出場して今年で5回目の出場です。これは素晴らしいことです。
世代間育成システムで育った申し子である康成。けがや故障を一度もすることなく練習を積み重ねてきたからこそできていることです。このクラスになると、結果に関して厳しいことを言われることは当たり前かもしれませんが、彼の努力と行動は、クラブの誇り、私は評価しています。
ちなみに成績は、以下の通り
2013年 2位
2014年 4位
2015年・16年予選敗退
2017年5位
8位入賞で考えると、5戦で3勝2敗 星が一つ先行しました。次は優勝を手にして欲しいと思います。

《康成選手コメント》



(写真提供：月刊陸上競技)

日本選手権、応援ありがとうございました。
試合に挑むまで、今年大きく練習環境や内容が変わっていたので前年度までの比較が難しく不安も少しありました。
しかしコーチと話しながら確実にやりたい練習を消化し、自信をつけて挑むことができました。
レース自体は久しぶりに決勝、期待してる方々、コーチ、そして自分のためにも結果を残したかったです。残念ながら満足する結果は出せませんでした。
海外挑戦を初めて、またこのスタートラインに戻ってくることができたこと、それは自分のやろうとしていることは間違いじゃないと確認する事ができました。
まだ始まったばかり、しっかりと結果を残します。